

# 夢窓幼稚園通信第15号

2016年 5月 31日

みなさん 5月の風はいかがでしたか?

5月のおひさまは、空は……?

世界中で、日本の様々なところで、いろいろなことが日々生じています。天災も戦争も起き、続いている。

避難生活をせざるを得ない人々、自分の国や土地に災害や事故によって住むことができないでいる人たちもたくさんです。

私の前を通り過ぎるこの風が流れていく、そしておひさまがいつでも恵みの光をあまねく注いでくれる……。今のことつながっている 大地と空の間で、私が気がつかない 知らないことも含めて、たくさんのが 生まれています。

よろこびにあふれていますも …、目を伏せたくなるようなことも…。

どうぞ 希望をもって、世界中の「私」たち一人ひとりが それから生きることができますように!

6月がやってきます。

もうすぐ 雨の季節です。あと10日もすると 続けて雨が降るかもしれません。

雨降りの日には、雨の中にはいって存分にその世界を味わうたのみと、雨を感じつつもその時ならではの静けさの中でじっくりと部屋の中にこもるたのしみとがあります。

ぱらぱらと降る雨の中を、少しくらい濡れながら散歩したり遊んだり、傘をさして長ぐつをはいての探検もわくわくです。

雨つぶが落ちてくるのを時には時間を忘れて眺めているのも、これまた乙なもの。大きな木の下に守られながら葉っぱに当って雨音を立てるのに耳傾けるのも素敵です。

いくらでも 魅力的なことを体験することができるでしょう。

反対に雨をチャンスに与えられた時間、内なる世界を存分に旅するのも面白いです。

自分や今の状況を何かに見立てて 想いめぐらしてみるのには絶好の時間です。

日曜日などで外に出られない雨降りの時に、本棚を前に雨音のまゆ玉に包まれるようにして、一冊へこれまで出会ってきたその本の背景を思い返したり、今まで縁のなからた本の背表紙に集中していると、不思議なことに、声のない声が流れてくるようでした。

どうも 本たちが何やらささやいているようでした。  
あわただしくもなく、競い合っている様子でもなく、静かに何事かを伝えようとしてくれている、語りかけにきててくれたのかもしれません。

「世界史を勉強しようよ！」って、「この詩 よんだ？  
いいよ！」 「今 このこと気になるでしょう！」 ……  
こんなふうなのも雨の日のたのしみです。

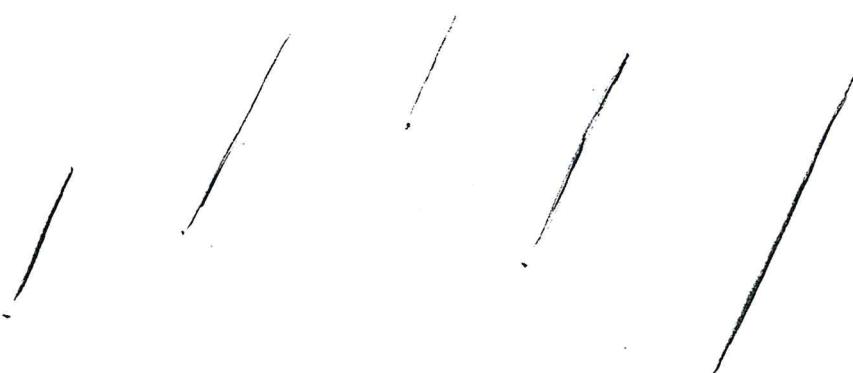
雨の季節 …… 子どもたちも 雨の中に、自分の中に大冒険をするのかな??

たくさん出会って たくさん夢見て 大きくなれ!!

雨が降る空と大地の間 = 母なる地球は、一人の「私」の心の内とも 深くかくつながっているのでしょうか。

6月 …… 雨の季節、空が少しネズミ色になるかもしれませんが、一人ひとりの「私」が深く外なる世界と内なる心の世界に結びを作ることで、「希望」を世界にまたひとつ点すことができますように！

園長 升光泰雄



むらむら  
ぬぬぬ